

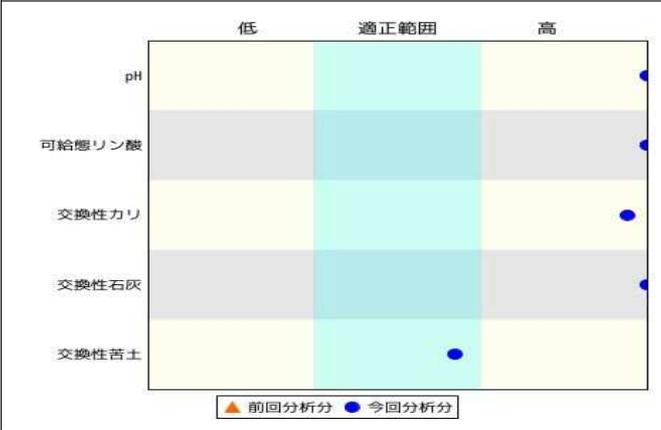
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/12
サンプルNo	5038				支店	花巻地域営農グループ

詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

分析結果グラフ



分析所見

- ・pHが高くなっています。
- ・可給態リン酸が大幅に富化しています。リン酸肥料は不要です。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性石灰が多くなっています。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です。

分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	7.2 ▲高い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.12			
可給態リン酸	mg/100g	146 ▲高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	81.0 ▲高い		19.6~52.2	
交換性石灰	mg/100g	761 ▲高い		388.4~466.0	
交換性苦土	mg/100g	82.0		72.6~83.7	
CEC	me/100g	27.7			
石灰飽和度		98			
苦土飽和度		15			
加里飽和度		6			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		119			
Ca/Mg 比		6.6			
Mg/K 比		2.4			

土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0		

特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
合計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	0.0	0.0		

コメント

- 可給態リン酸、交換性カリ及び石灰が高いことから、これらの成分を含む肥料(若しくは有機物)と思われる過剰施用の傾向が見られます。元肥で成分を調整してください。
- 一般にCa(石灰)の多い土壌ではpHが高く、Mn、Fe、Zn、Bなどが欠乏し易いので、土壌pHに注意が必要です。また、Caの過剰は、Mg、K、Pの欠乏を引き起こすことがあるので、注意が必要です。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

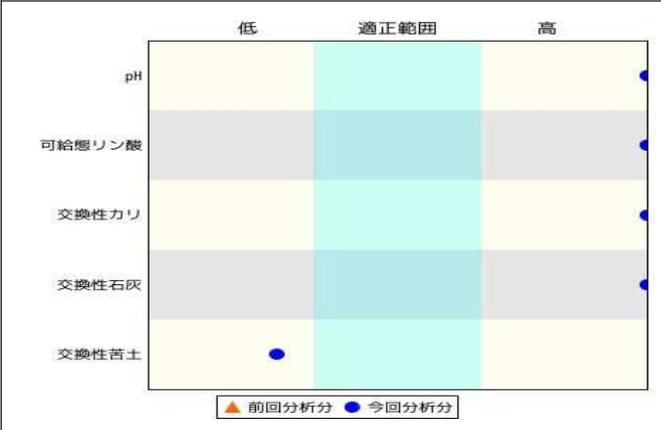
土づくり肥料

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/12
	サンプルNo	5040				支店	花巻地域営農グループ

詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

分析結果グラフ



分析所見

- ・pHが高くなっています。
- ・可給態リン酸が大幅に富化しています。リン酸肥料は不要です。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性石灰が多くなっています。
- ・交換性苦土が不足しています。土壤改良が必要です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	7.4 ▲高い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.53			
可給態リン酸	mg/100g	157 ▲高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	118 ▲高い		18.2~48.4	
交換性石灰	mg/100g	557 ▲高い		360.3~432.4	
交換性苦土	mg/100g	65.0 ▼低い		67.3~77.7	
CEC	me/100g	25.7			
石灰飽和度		77			
苦土飽和度		13			
加里飽和度		10			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		100			
Ca/Mg 比		6.1			
Mg/K 比		1.3			

土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	2.3	0.0		

特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
粒状硫マグ25	10	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	0.2	0.0		

コメント

- 可給態リン酸、交換性カリ及び石灰が高いことから、これらの成分を含む肥料(若しくは有機物)と思われる過剰施用の傾向が見られます。元肥で成分を調整してください。
- 一般にCa(石灰)の多い土壌ではpHが高く、Mn、Fe、Zn、Bなどが欠乏し易いので、土壌pHに注意が必要です。また、Caの過剰は、Mg、K、Pの欠乏を引き起こすことがあるので、注意が必要です。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

土づくり肥料

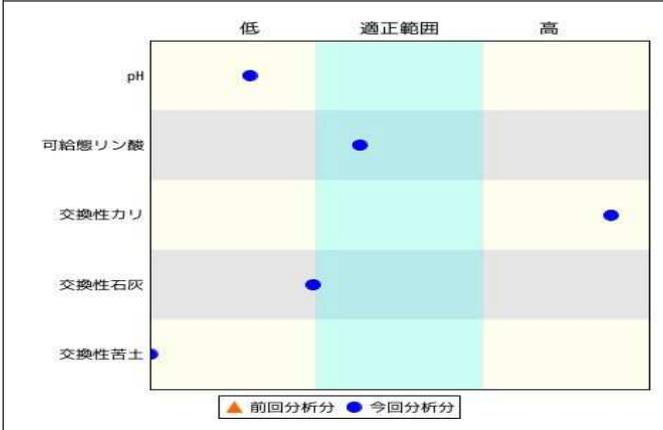
粒状硫マグ25

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属		受付日	2023/02/06
	サンプルNo	6083	JA	JAいわて花巻	支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.8 ▼低い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.09			
可給態リン酸	mg/100g	13.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	45.0 ▲高い		11.4~30.3	
交換性石灰	mg/100g	225.7 ▼やや低い		225.7~270.9	
交換性苦土	mg/100g	25.0 ▼低い		42.2~48.7	
CEC	me/100g	16.1			
石灰飽和度		50			
苦土飽和度		8			
加里飽和度		6			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		64			
Ca/Mg 比		6.4			
Mg/K 比		1.3			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	23.3	17.2	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	50	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ニューエコマグ	30	0.0	0.2	16.5	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	25.2	16.5	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	1.9	-0.7	0.0		

■ コメント

- 交換性カリが高いことから、この成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)



ニューエコマグ

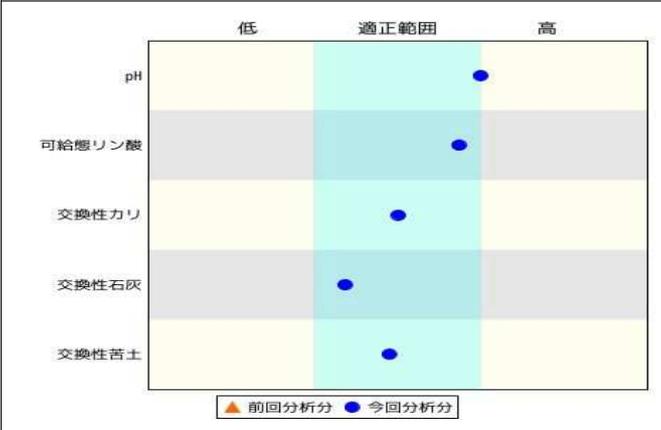


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/22
	サンプルNo	8349				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが高くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰は適正です。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・石灰苦土比は適正です。
- ・苦土加里比が高くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6.5		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.05			
可給態リン酸	mg/100g	27.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	42.0		22.8~60.7	
交換性石灰	mg/100g	468		451.4~541.7	
交換性苦土	mg/100g	90.2		84.4~97.3	
CEC	me/100g	32.2			
石灰飽和度		52			
苦土飽和度		14			
加里飽和度		3			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		69			
Ca/Mg比		3.7			
Mg/K比		5.0			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
合計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	0.0	0.0		

■ コメント

- 現在、土壌中の養分は正常値にありますので、この状態を維持して下さい。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

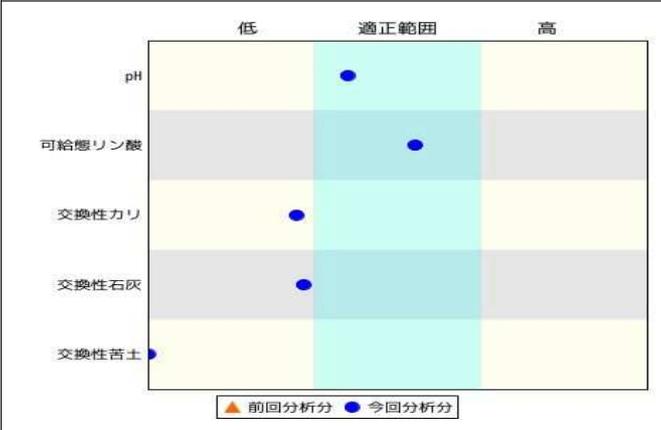
■ 土づくり肥料

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/22
	サンプルNo	8351				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHは適正です。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里が不足しています。土壌改良を行い、加里肥料は標準量(従来型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6.1		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.05			
可給態リン酸	mg/100g	21.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	18.0	▽やや低い	21.9~58.4	
交換性石灰	mg/100g	429	▽やや低い	434.6~521.5	
交換性苦土	mg/100g	9.4	▽低い	81.2~93.7	
CEC	me/100g	31.0			
石灰飽和度		49			
苦土飽和度		2			
加里飽和度		1			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		52			
Ca/Mg 比		32.6			
Mg/K 比		1.2			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	49.1	71.8	25.8		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稲を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	100	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
粒状硫マグ25	285	0.0	0.0	71.3	0.0	0.0	0.0
塩化加里	45	0.0	0.0	0.0	27.0	0.0	0.0
合計		0.0	50.0	71.3	27.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.9	-0.5	1.2		

■ コメント

■左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
 ■定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)



粒状硫マグ25



塩化加里

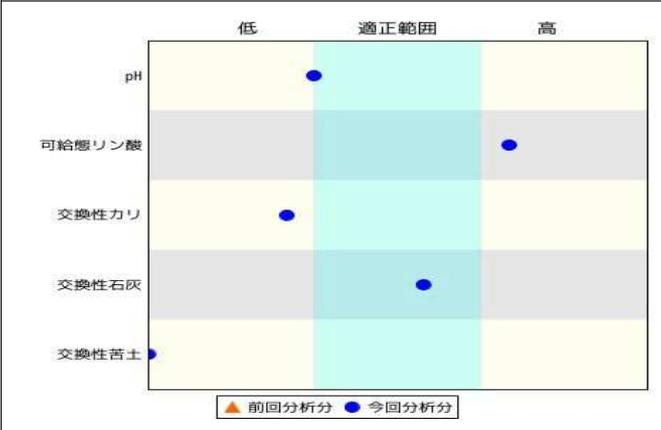


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/22
	サンプルNo	8353				支店	花巻地域営農グループ

詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	綾織	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

分析結果グラフ



分析所見

- ・pHは適正です。
- ・可給態リン酸が富化しています。リン酸肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性加里が不足しています。土壌改良を行い、加里肥料は標準量(従来型)を施用します。
- ・交換性石灰は適正です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.04			
可給態リン酸	mg/100g	34.0 △やや高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	18.0 ▽やや低い		24.7~65.9	
交換性石灰	mg/100g	555		490.7~588.8	
交換性苦土	mg/100g	14.1 ▽低い		91.7~105.8	
CEC	me/100g	35.0			
石灰飽和度		57			
苦土飽和度		2			
加里飽和度		1			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		60			
Ca/Mg比		28.1			
Mg/K比		1.8			

土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	77.6	31.5		

特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
粒状硫マグ25	310	0.0	0.0	77.5	0.0	0.0	0.0
塩化加里	50	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0
合計		0.0	0.0	77.5	30.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	-0.1	-1.5		

コメント

- 可給態リン酸がやや高いことから、この成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

土づくり肥料



